

特集 1

よりよい新人看護職員研修の実施に向けて

新人看護職員研修ガイドライン改定を契機に、成果と課題を考える

2010年4月、新人看護職員研修制度が努力義務化された。伴い、全医療機関で研修が実施できるような体制整備に向けて、『新人看護職員研修ガイドライン』が策定された。そして、本年、厚生労働省により同ガイドラインの見直しが実施された。本特集では、努力義務化から現在までの研修の実態や実施上の課題を振り返りながら、よりよい研修計画に向けた継続的な質改善の方策について取り上げる。

より効果的な新人看護職員研修の実施に向けて

新人看護職員研修ガイドラインの改定から考える◎熊谷雅美

「新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究」の成果からみえた

研修の実態と実施上の課題◎佐々木幾美／西田朋子

中小規模病院の効果的な制度活用の実態と今後の展望◎砂田好至子

特集 2

専門チームとの協働で病棟内急変を予防する

ラピッド・レスポンス・チームの効果的導入と運用

院内急変対応システム「ラピッド・レスポンス・システム」(RRS)は、予期しない院内心停止を未然に防ぐために、専門チームがバイタルサインの早期異常段階から介入する医療安全の仕組みである。専門チームとの協働は、病棟内の安全性、スタッフナースの日常業務への安心感を高めることにつながる。本特集では、施設状況に応じたRRSの効果的な運用方法と病棟との協働体制の構築方法について解説する。

ラピッド・レスポンス・システムとはなにか 理想のありかたと現状における課題◎藤谷茂樹

【実践報告：大阪市立総合医療センター】◎安宅一晃／川口なごさ

【実践報告：北里大学病院】◎森安恵実／坂下智珠子

【実践報告：聖マリアンナ医科大学病院】◎竜トシ子／藤野智子

【実践報告：東京ベイ・浦安市川医療センター】◎佐々木愛／香西ひろみ

Q & A これから始めようとする病院、うまく稼働できない病院へのヒント集◎小池朋孝

巻頭

うちの師長会・主任会◎長浜赤十字病院

特別記事

認定看護師の活動を可視化するための評価指標作成の取り組み◎古田愛子ほか

編集後記

▶4月号に続き、今月も新連載がスタートしました。院内教育をさらに改善したい看護師の皆さま、ぜひご注目ください。各病棟の教育担当者間や教育委員会の教材としてご活用いただくと嬉しいです。▶特集では2012年、2013年の2年間にわたり「医療の質・安全学会」学術集会で取り上げられた、有効なダブルチェック体制について考察しました。立ち見も出る会場の混雑ぶりに、非常な関心の高さを感じたことを思い出します。▶インタビューにご登場いただいた田中先生の「安全は人がつくる」の言葉が、個人的にも印象に残りました。業務上の事故予防に向けて自戒の念を込め、「ダメ! 油断、慢心(、傲慢)」を当面の目標にしたいと思います。(小齋)

▶高性能な電子機器の導入が進んでも、やはり最終確認を行い、その責任を担うのは人間である医療者です。複数の人間が携わって確認作業を行う以上、安全管理への意識の共有はもちろん、院内での日常的なコミュニケーションも医療安全の精度向上に欠かせないと感じました。▶堤真一ファンの私が「ダブルチェック」という言葉で思い出すのは、映画「クライマーズ・ハイ」(2008年公開)で、堤真一演じる新聞記者が繰り返す台詞「チェック、ダブルチェック」。元は米国映画「地獄の英雄」(1951年公開)に登場する老編集長の台詞ですが、思い込みを排除して確認を怠らない態度は、編集者にとっても欠かせないのだと肝に銘じていきたいと思っています。(笹山)

看護管理 第24巻第5号

2014年5月10日発行(毎月1回10日発行)

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2014, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2014年年間購読料

冊子版 18170円

冊子＋電子版／個人 21170円

冊子＋電子版／共有 23900円

電子版／個人 18170円

電子版／共有 20900円

(いずれも税込、送料弊社負担)

『看護管理』編集室(担当：小齋、笹山、伊藤)

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

[年間購読のお申し込み先]

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された【0917-1355/14/¥500/論文/JCOPY】は、1論文1回複写につき500円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook始めました!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をよろしく願いいたします。

http://www.facebook.com/kangokanri1991

●twitter アカウントは、@kangokanri です。あわせてフォローをお願いいたします。